

## ロックルの紹介

—今回は、緩勾配（1：1.0～2.0）用の大型張ブロック「ロックル」の紹介をします—



### ロックルの特徴：

- ・ ブロック自体が控厚 35cm で胴込コンクリートが不要
- ・ 1.0㎡/個と大型なため、工期を大幅に短縮できる
- ・ 明度が 5 以下となり、周辺環境に馴染む
- ・ 全体厚 35cm の 350 型と版厚 35cm の 385 型の 2 種類

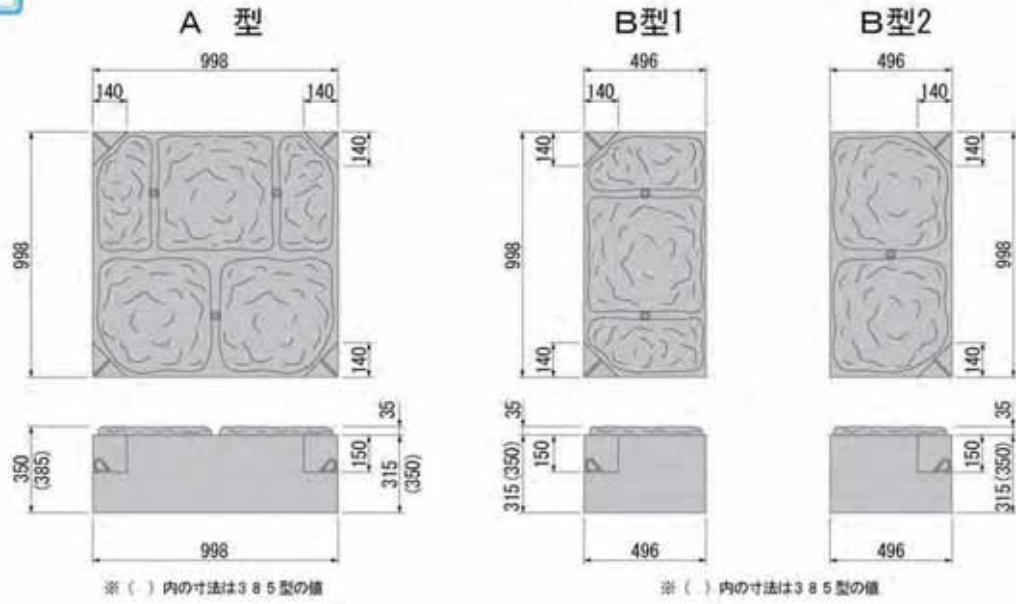


従来の間知ブロック張りは、緩勾配施工時に胴込めコンクリート打設が困難でブロックが小型のため、施工日数が長期間必要でした。しかし、ロックルはブロック自体が 35cm のため、困難であった胴込コンクリートの打設が必要ありません。それに加えて 1.0 ㎡/個の大型ブロックのため、施工日数を大幅に短縮できます。さらに明度も低下できます。

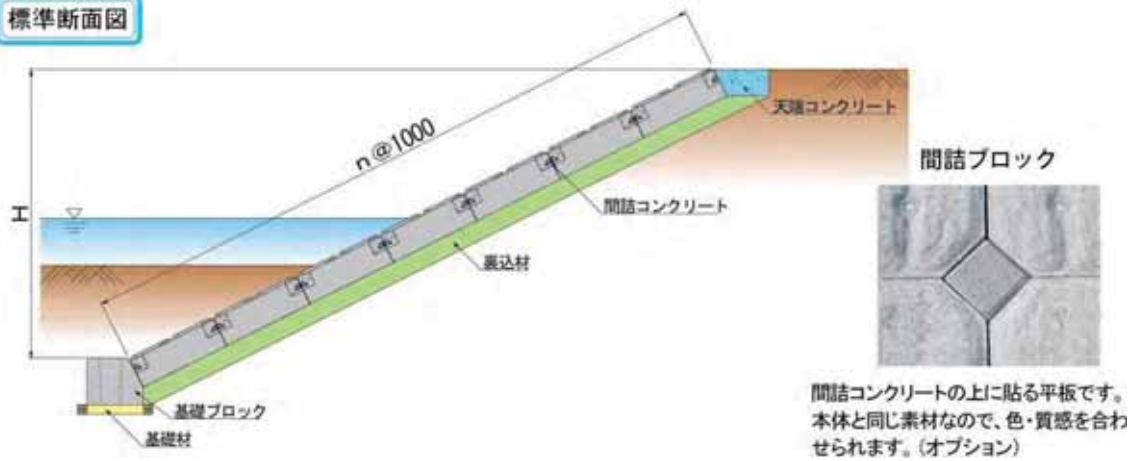
### 100 ㎡当り施工時比較

	間知ブロック	ロックル
イメージ図		
使用 個数	830～1000個	100個
施工 日数	2.04日 (養生期間を含まず)	1.23日
明度 参考値	6.5以上	5.0以下
胴込コン クリート	打設困難で養生期間が必要	不必要 (養生期間が不要)

単体図



標準断面図



施工例



施工場所：島根県 江の川（平成 25 年度施工）